

第2回瀬戸内4県都市長会議を開催しました

平成28年11月10日（木）に、岡山市内にある「岡山城天守閣 2階 城主の間」において、「第2回瀬戸内4県都市長会議」を開催しました。

まず、岡山市より、平成28年度の事業報告があり、「瀬戸内4県都市物産フェア」として、イオンマレーシアのバンダーウタマ店で開催されたオープニング式典に参加するとともに、バンダーウタマ店をはじめ、デブラウシティ店やクイーンズベイ店にて、広島市は「お好み焼き」、高松市は「うどん」、松山市は「ジュース」、岡山市は「果物」といった、それぞれのブースを1週間出展し、約120品目を販売したこと、また、在マレーシア日本国大使公邸において、4県都の観光セミナーを開催し、その後の交流会でも4市の特産品を振る舞うなど、瀬戸内の食の魅力をPRしたことを報告しました。

平成28年度事業に関する意見交換では、4市の代表的な特産物をマレーシアの人たちに直接PRできたことは非常に大きな成果であることや、観光誘客にあたってのコース設定や、ターゲットに対するもてなし方の工夫、フォローアップの重要性などについて話が出ました。

来年度事業については、東南アジア、とりわけ、訪日ビザが免除されたことで訪日客数が非常に伸びている「タイ」からのインバウンドを4県都市で取り込むための4県都市を回るファムツアーの実施や、4市が観光地として良いものと認識していただけるようなコース設定、瀬戸内エリアバスの活用などの意見が挙がりました。

瀬戸内4県都市長会議当日の様子

